



チームの牽引車「五人衆」が語る

主将 篠原 洋介 (FB) 副将 長沼 英幸 (PR) 副将 三浦 健博 (LO)
副将 向井 陽 (SH) 副将 藤原 誠 (SO)

ラグビーは一旦試合が始まると、コーチや監督は何も出来ない、何も言えない立場となり、試合は全てキャプテンを中心にした選手に任せるといふ様に、際立ってキャプテンシーを問われるという特徴があります。チームリーダーとなる中心選手の意識・行動力がチームの方向性を決めると言っても過言ではありません。

SWラグビーが、スポーツマンシップの高い水準、道徳的なふるまい、フェアプレーを保ち、そして何としても勝利するために、日々奮闘するSWチームリーダーたちの声を聞きました。

——キャプテン、バイスカプテンに期待されていること、その役割についてお聞きします。

・篠原キャプテン「熱意と戦闘力」

春先にケガをしてしまい、自分に与えられた役割を果たすことが出来なくて納得できる状況ではなかったのですが、自分なりに考え出した答えは、とにかくみんなと一緒に居ること、行動を共にすること。それで何とかここまで乗り切れた。これからですかね本領発揮は。

・長沼選手「セットパフォーマンス」

昨年セットプレーのオプションが少なく感じていたのでもっと良い機会を与えられたと思っています。練習では新しいことをどんどん取り入れるようにしていますが、なかなか簡単にはいかない、厳しさを感じています。これからシーズンまで時間があるとは言えませんが、期待に応えられるように頑張ります。

・三浦選手「人間力」

今年は選手がチームのさまざまなことに参加できるように心がけてきました。いろいろ試していますが、シーズンまでうまく持って行けるように、そしてみんながやりやすいように出来れば良いのかなと思っています。

・向井選手「メンタルタフネス」

そうですね言葉にすれば「ヨっしゃー!」になるけど、とにかく元気良くやろうと思っています。自分自身だいが疲れてきていますが、元気のない選手がいたら声を掛ける。いつもいじょうに明るく楽しくやることを心がけています。

・藤原選手「行動力」

うーん行動力、漠然として難しいですね。まず自分がうまくなること。自分のプレーやそれこそ行動で他の選手に何か伝えることができれば良いのかな。それでチームが良い方向に向かうことができればさらに良いと思うのでこれからも実行していきます。

——春シーズンを終えてこれまでの手応えをお聞きします。

篠原：春にはトップリーグを経験してきたチームとの試合やノーザンブレッツとの合同練習などをしてきましたが、自分たちのパフォーマンスを試合でどれだけ出せるか課題になると思います。評価は難しいけれど春シーズンとしては集中して意欲的に取り組んでいると思います。その成果はいろいろな形で出てくると確信しています。今シーズン



副将 向井 陽 スクラムハーフ(SH)
1977.6.7生/163cm/70kg
福岡大学卒/福岡県出身/(学)野田学園

副将 三浦 健博 ロック(LO)
1976.9.16生/183cm/95kg
釜石工高卒/大槌町出身/新日鐵(株)

副将 長沼 英幸 プロップ(PR)
1983.11.7生/178cm/103kg
法政大学卒/山梨県出身/新日鐵(株)

副将 藤原 誠 スタンドオフ(SO)
1982.1.22生/178cm/80kg
日本大学卒/紫波町出身/岩手トヨペット(株)